

吹上地域包括支援センター 担当

日 時： 令和 7 年 5 月 20 日（火）午後 1 時 30 分～1 時 50 分

会 場： 栃木市役所

事 例 数： 1 ケース（令和 6 年 11 月 19 日検討した事例の振り返り）

参加者数： 13 名

〔事例提供者 1 名、助言者 6 名、包括職員 2 名、傍聴者 4 名〕

**術後の不安や膝の痛みなどから活動量が低下したことで
日常生活動作に支障がでている 84 歳女性**

〈目標〉1 日：身の回りのことを自分で行い、転ばないで過ごす。

1 年：娘の世話にならず、自分で身の回りのことができるようになる

利用サービス：通所型独自サービス（従前）介護予防福祉用具貸与

《前回会議での支援策》

支援方針：膝の痛みを軽減しながら、活動量が増やせるよう支援する。

助言内容：

- ①手術により血流が維持できているので、安心して活動量を増やすよう伝えられるとよい。
- ②膝の痛みは痛み止めを上手く使い、活動量を上げていくことが優先事項。
- ③糖尿病の既往があり歯周病などが進行しやすいので、定期受診が必要。
- ④趣味活動や本人の興味があることを行うことで、活動量を維持する。
- ⑤歩行器を使用することで、安定した歩行状態を保つことができる。
- ⑥主食量を減らすだけでは血糖コントロールは難しい。栄養バランスに注意した食事を心掛けるとよい。

《支援結果・状況》

- ①達 成：活動量が増えている。
- ②達 成：痛み止めはあまり使っていないが、活動量は増えている。
- ③未達成：本人が噛み合わせなど、不便を感じていないため、受診につながっていない。
- ④達 成：趣味活動は継続している。
- ⑤達 成：シルバーカーを使用することで、安定した歩行状態を保つことができている。
- ⑥達 成：10 品目の栄養表を参考に食事内容を改善し、HbA1c 値、インスリン量ともに下がっている。